
日本赤十字社群馬県支部沿革

- 明治19年 博愛社社員 群馬5名
- 明治20年11月6日 「群馬県委員会」設置
委員長 佐藤 与三(県知事)
- 明治22年5月24日 第1回群馬県委員会社員総会
会場：高崎市高崎小学校
※北白川宮能久親王・同妃殿下台臨
- 明治25年1月10日 第2回群馬県委員会社員総会
※総裁小松宮彰仁親王殿下台臨
- 明治26年11月16日 「群馬県委員会」を「群馬支部」に改称
- 明治27年10月18日 「看護婦養成所速成科」設置 44名応募(41名卒業)
- 明治28年 日清戦争にて救護活動を実施
医師2名、看護婦6名が患者輸送及び船内衛生事務に従事
看護婦26名東京陸軍予備病院勤務
- 明治29年2月17日 支部事務所、救護員養成所土地、建物購入
旧県立医学校附属病院土地、建物、器具、器械一切
- 4月7日 支部初の本社病院救護看護婦養成所生徒委託
水野 ケイ・内田 ぜいの2名(支部選出模範看護婦)
- 6月30日 支部社員総会
会場：高崎市
※総裁小松宮彰仁親王殿下台臨 佐野社長等随行
- 明治30年 「支部看護婦養成所速成科」開設(2月入学・5月卒業)
市町村選出生徒25名
- 5月14日 「支部看護婦養成所」開設
前記25名から9名選出し入学させる
- 明治31年3月31日 支部看護婦養成所(前期)卒業式挙行
今後の看護婦養成は本社に委託
- 4月30日 支部看護婦養成所前期卒業生中2名本社入学
石原 はる・赤尾 よその2名(支部選出模範看護婦)
- 明治33年 清国事変にて救護活動を実施
- 7月22日 看護人4名「弘済丸」乗組み
- 8月19日 看護婦1名広島陸軍病院勤務
- 明治35年 商議員新設、6名委嘱(7月) ※昭和22年に評議員と改称
- 明治37年4月24日 「篤志看護婦人会群馬支会」結成
- 7月1日 日露戦争にて救護活動を実施
「第22救護班」20名を派遣

- 8月 5日 医員 2名、調剤員 1名、看護婦 15名「御芳野丸」乗組み
8月 21日 支部選出救護輸送人久保田 浜吉、鳳凰城で殉職
- 明治38年 3月 7日 「第23救護班」26名派遣
医員 2名、調剤員 1名、書記 1名、看護婦長 2名、看護婦 20名
3月 21日 支部選出救護輸送人増尾 平三郎、連山関で殉職
- 明治39年 10月 23日 秀島 行成 初代常務幹事に就任
- 明治41年 4月 1日 群馬支部第4回総会及び篤志看護婦人会群馬支会総会
会場：前橋中学校
※総裁 閑院宮載仁親王殿下台臨
- 明治43年 8月 13日 関東地方大水害発生、救護活動を実施
第1救護班 6名（医員 1、看護婦 2、書記 2、人夫 1）を臼井町に派遣
第2救護班 5名（医員 1、看護婦 2、書記 1、人夫 1）を孺恋村に派遣
- 10月 8日 群馬支部職員総会
会場：前橋市1府14県連合共進会場
※総裁 閑院宮載仁親王殿下台臨
-
- 大正 2年 3月 23日 「群馬支部病院」開院
院長：桑原 政栄、主事：高村 小文治、看護婦長：石原 はる
- 大正 7年 3月 12日 第1次世界大戦(フランス)にて救護活動を実施
支部病院看護婦 赤坂 チヨを派遣
- 7月 25日 第1次世界大戦(シベリア)にて救護活動を実施
「第1次シベリア派遣臨時救護班」に支部看護婦
斎藤 熊一、南雲 安兵衛を派遣
- 9月 10日 「シベリア第1次看護婦組織臨時救護班」に
支部病院 看護婦 高木 ムツを派遣
- 大正 8年 11月 16日 「シベリア第2次看護婦組織臨時救護班」に
支部病院 看護婦 小林 ふさを派遣
- 大正 9年 1月 「流感予防注意書」10万枚を県内配布
11月 5日 「シベリア第4次看護婦組織臨時救護班」に
支部病院 看護婦 大塚(臼田) よふを派遣
- 11月 7日 ※総裁 閑院宮載仁親王殿下群馬支部病院台臨
- 大正10年 支部病院 看護婦 桑原 あい ナイチンゲール石黒牌受章(本県初)
- 大正12年 7月 5日 第1次世界大戦(サハリン)にて救護活動を実施
「サハリン第2次臨時救護班」に松井 きちを派遣
- 9月 ~
10月 関東大震災(9. 1) 救護
9月 少年赤十字団結成

大正 15 年 5 月 6 日 群馬支部事務所新築落成式(前橋市曲輪町)
本社創立 50 周年祝賀式を兼ねる
※総裁 閑院宮載仁親王殿下台臨

昭和 3 年 3 月 「学校看護婦」制度採用

8 月 1 日～

8 月 21 日 「夏季児童保養所」を茨城県平磯海岸へ開設

8 月 26 日 群馬支部病院 看護婦長 水野 ケイ
第 5 回フローレンス・ナイチンゲール記章受章

8 月 26 日～

8 月 29 日 「小学校教員対象衛生講習会」開催
会場：師範学校 受講者：202 名

昭和 10 年 「社会看護婦」新設

昭和 12 年 7 月 ～

昭和 20 年 8 月 日支事変・大東亜戦争にて救護活動を実施
群馬支部第 22 救護班従軍(8. 14)以来
救護班数 26、救護員数 855 名(医員 8、調剤員 3、書記 15、
看護婦長 58、看護婦 756、使丁 15)

昭和 18 年 1 月 1 日 「群馬支部病院」を「前橋赤十字病院」と改称

昭和 21 年 4 月 9 日～

昭和 22 年 6 月 9 日 「戦後派遣救護班」派遣
群馬支部は救護班 4 班を派遣

9 月 15 日 カスリーン台風猛威、救護班派遣

昭和 23 年 「再建群馬県青少年赤十字」誕生
加盟校 8 校：中川小、桃井小、城東小、小野上小、八幡小、高崎北小、
富士見中、前橋女子高

5 月 21 日 青少年赤十字運営委員会(現指導者協議会役員会)結成

7 月 26 日～

7 月 28 日 青少年赤十字第一回トレーニングセンター実施
会場：赤城大沼「青雲荘」
家庭看護法教師養成講習会開催

昭和 24 年 「群馬県赤十字奉仕団」結成

6 月 7 日 ソ連から引揚げ第一陣帰還

8 月 31 日 キティ台風上陸、救護活動を実施

10 月 30 日 前橋赤十字病院看護婦関係者「赤心会」結成

昭和 25 年 5 月 28 日～

5 月 31 日 安全法講習会開催

- 8月 中断していた「夏季児童保養所」再開
8月 茨城県平磯海岸 43年閉鎖
- 昭和27年 2月10日 「原町診療所」開設
- 昭和28年 1月 新定款により「群馬支部」を「群馬県支部」に改称
3月15日 第1次引揚船「白山丸」出立、救護班7名を派遣
4月 前橋赤十字病院未帰還看護婦の第一陣2名、第1次引揚船で帰国
6月 「宝泉診療所」開設 43年10月閉鎖
- 昭和29年 第9次帰国船出立、救護班8名を派遣
- 昭和30年 「前橋赤十字病院院内血液銀行」設置
- 昭和31年 10月8日 「群馬県青少年赤十字奉仕団」結成
- 昭和34年 4月 「原町診療所」が病院に昇格、「原町赤十字病院」に改称
- 昭和37年 8月15日 前橋赤十字病院構内に「群馬県赤十字血液銀行」新築
- 昭和39年 5月13日 ジュネーブ条約百周年記念四県JRC大会
6月17日 新潟地震発生、救護活動を実施
- 昭和40年 2月13日 「群馬県赤十字血液銀行」を「群馬県赤十字血液センター」に改称
- 昭和41年 1月19日 支部無線装備竣工
- 昭和42年 前橋赤十字病院 看護部長 金子 シズ
第21回フローレンス・ナイチンゲール記章受章
- 昭和46年 3月 「前橋赤十字病院」増改築
8月 「原町赤十字病院」増改築
- 昭和48年 4月1日 「群馬県アマチュア無線赤十字奉仕団」結成
- 昭和50年 5月18日 「殉職救護員慰霊碑」除幕式実施（支部、赤心会主催）
会場：前橋赤十字病院
- 昭和51年 4月1日 「前橋赤十字高等看護学院」を「前橋赤十字看護専門学校」に改称
4月18日 「赤十字飛行隊群馬支隊」結成
- 昭和54年 5月18日 「群馬県赤十字有功会」設立総会
- 昭和55年 6月8日 「前橋赤十字病院奉仕団」結成
8月～
11月 県内初の国際救護活動としてタイの難民キャンプに看護婦1名派遣
11月 日本赤十字社群馬県大会実施
会場：前橋市「群馬県民会館」
※名誉副総裁高松宮妃殿下台臨
- 昭和56年 3月 「群馬県青少年赤十字30年のあゆみ」発刊
10月15日 日本赤十字社群馬県大会実施
会場：太田市「太田市民会館」
※名誉副総裁高松宮妃殿下台臨

- 9月21日～
- 9月22日 日本赤十字社関東山静支部救護訓練実施
会場：前橋市岩神町利根川左岸
- 昭和57年 4月 1日 全国で初めて「県教育委員会教育行政方針」中に「JRCの振興」の
語句が挿入される
- 8月 9日 群馬県赤十字血液センター開設以来献血者数100万人達成
- 昭和58年 7月21日 支部創立95周年記念赤十字大会実施
会場：前橋市「群馬県民会館」
※名誉副総裁三笠宮妃殿下台臨
- 昭和59年12月20日 「群馬県赤十字血液センター」新築（前橋市天川大島町二丁目31-13）
- 昭和60年 8月12日 日本航空123便羽田発大阪行が多野郡上野村内「御巣鷹山」に墜落
死傷者：524名
48日間にわたり救護活動を実施
- 9月 1日 「前橋赤十字病院健康管理センター」新築
- 10月31日 日本赤十字社群馬県大会実施
会場：伊勢崎市「伊勢崎市民文化会館」
※名誉副総裁秩父宮妃殿下台臨
- 昭和61年 9月 ～
- 昭和62年 2月 マレーシアビドン島ベトナム人難民キャンプ派遣
前橋赤十字病院 放射線技師1名を派遣
- 9月 ～
- 3月 マレーシアビドン島ベトナム人難民キャンプ派遣
前橋赤十字病院 放射線技師1名を派遣
- 昭和62年11月 6日 日本赤十字社群馬県支部創立100周年
社員数：184,873人
- 昭和63年 4月 1日 「群馬県立東毛養護学校日赤分校」を「群馬県立西毛養護学校」に改称
- 10月25日 年表「日本赤十字社群馬県支部100年のあゆみ」作成
-
- 平成 元年 1月31日 「日本赤十字社群馬県支部百年史」作成
- 平成 2年 5月 7日 「日本赤十字社群馬県支部社屋」起工
- 平成 3年 2月28日 「日本赤十字社群馬県支部新社屋」竣工
場所：前橋市光が丘町32-1(県有地)
敷地面積：1,619.32㎡
事務所棟：鉄筋コンクリート造地上2階地下1階
救護倉庫：鉄筋コンクリート造2階建
車庫：鉄骨造スレート葺
無線塔：地上30m
総工費：441,145,000円

- 4月 9日 「日本赤十字社群馬県支部創立 100 周年記念事業」終了
- 7月 3日 群馬県赤十字大会実施
会場：群馬音楽センター
※名誉副総裁寛仁親王妃殿下台臨 支部事務局新社屋ご視察
- 8月 1日～
- 8月 7日 青少年赤十字日韓交流事業(第1年次)
韓国青少年赤十字メンバー来日 指導者1名、メンバー8名、職員1名
- 9月30日 群馬県赤十字血液センター開設以来献血者数 200 万人達成
- 10月 7日～
- 10月13日 青少年赤十字日韓交流事業(第1年次)
韓国へ指導者2名、メンバー6名、職員2名を派遣
- 11月12日～
- 11月23日 ネパール飲料水供給・保健衛生改善事業調査
地区分区職員2名、職員1名を派遣
- 12月 5日～
- 平成 4年 6月 6日 ベトナム難民救援医療活動要員派遣
前橋赤十字病院 放射線技師1名をマレーシアに派遣
- 8月 1日～
- 8月 7日 青少年赤十字日韓交流事業(第2年次)
韓国青少年赤十字メンバー来日 指導者2名、メンバー6名、職員3名
- 8月21日～
- 8月27日 青少年赤十字日韓交流事業(第2年次)
群馬県メンバー訪韓 指導者2名、メンバー6名、職員2名
- 10月 1日～
- 10月 2日 大韓赤十字社日赤社員制度研修団3名来日
- 11月25日～
- 平成 5年 2月25日 カンボジア難民救援派遣
前橋赤十字病院循環器部長をカンボジアプノンペンに派遣
- 1月12日～
- 1月19日 フィリピン赤十字社災害対策事業実態調査
地区分区職員2名、支部職員1名を派遣
ピナツボ山噴火災害被災現地視察ほか
- 3月18日～
- 5月13日 国際救援・開発要員の現地研修
前橋赤十字病院看護婦1名をネパールに派遣

3月27日～

4月 3日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー2名、支部職員1名をインドネシアに派遣

7月 北海道南西沖地震発生、救護活動を実施
支援要員1名(支部職員)を北海道奥尻島に派遣

8月15日～

8月23日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー2名、指導者1名、支部職員1名をオーストラリアに派遣

9月27日～

10月 2日 中国災害救援事業視察
地区分区職員4名、支部職員2名を派遣

11月 3日～

11月 7日 青少年赤十字日韓交流事業(第3年次)
指導者4名、メンバー4名、支部職員2名を派遣

平成 6年 1月11日～

1月20日 北関東四県支部国際救援事業(飲料水供給事業)実態調査
地区分区職員2名、支部職員1名をネパールに派遣

1月13日～

4月26日 アフガン難民医療救援事業支援
前橋赤十字病院形成外科部長をパキスタン(クエッタ)に派遣

4月13日～

4月19日 大韓赤十字社直轄医療施設国際交流視察団受入
ソウル赤十字病院職員5名

7月 6日～

7月12日 中国紅十字会日中友好親善視察団受入
中国紅十字会職員3名

7月28日～

8月 1日 青少年赤十字日韓交流事業(第4年次)
韓国青少年赤十字メンバー来日(大韓赤十字社光州直轄市全羅南道支社)
指導者3名、メンバー4名、支部職員3名

8月16日

8月24日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー2名、支部職員1名をインドネシアに派遣

10月26日～

11月 1日 日韓両赤十字社医療業務関係職員交換群馬県支部調査
支部・施設職員5名を派遣

- 平成 7年 1月10日～
- 1月18日 北関東四県支部国際救援事業
地区分区職員2名、支部職員1名をフィリピンに派遣
 - 1月17日 阪神淡路大震災発生、36日間にわたり救護活動を実施
派遣要員数：48名
 - 7月 3日～
 - 7月 7日 日韓青少年赤十字群馬県支部国際親善交流事業(5周年記念事業)
支部職員等5名を派遣
 - 9月 1日～
 - 9月 7日 大韓赤十字社直轄医療施設国際交流視察団受入
ソウル赤十字病院職員5名
 - 10月30日～
 - 11月 5日 日韓両赤十字社医療業務関係職員交換群馬県支部調査(第2年次)
支部・施設職員6名を派遣
- 平成 8年 「赤十字防災ボランティア活動推進要綱」(本社策定)により
防災ボランティアの養成確保開始
- 1月 8日～
 - 1月14日 北関東四県支部国際救援事業視察団派遣
地区分区職員2名、支部職員1名をタイ・シンガポールに派遣
 - 8月11日～
 - 8月20日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣(当番県)
メンバー2名、指導者1名、支部職員1名、看護婦1名をインドネシア
に派遣
 - 10月 5日～
 - 10月10日 国際救援事業海外調査
支部・施設職員5名をモンゴルに派遣
 - 10月27日～
 - 11月 2日 フィリピン青少年赤十字メンバー2名を受け入れ
- 平成 9年 1月12日～
- 1月20日 ネパール飲料水供給・保健衛生改善事業調査
地区分区職員2名、支部職員1名を派遣
 - 6月 1日～
 - 6月 6日 国際救援事業海外調査
支部・施設職員5名をフィリピンに派遣
 - 8月17日～
 - 8月26日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名、支部職員1名をインドネシアに派遣

- 平成10年 2月 5日～
- 2月13日 北関東四県支部国際救援事業
地区分区職員2名、支部職員2名をバングラデシュに派遣
- 8月17日～
- 8月24日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名、支部職員1名をベトナムに派遣
- 8月27日～
- 9月 2日 県北部にて集中豪雨発生、救護活動を実施
救護班を派遣し、被災者に対し救援物資(毛布500枚ほか)を配布
水上町分区・新治村分区・小野上村分区・沼田市地区・吾妻地区
- 9月16日 台風5号被災者に対し救援物資を配布(毛布370枚ほか)
甘楽地区・多野地区・高崎市地区・太田市地区・富岡市地区
- 平成11年 1月16日～
- 1月23日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名、支部職員2名をベトナムに派遣
- 3月31日 救護倉庫エレベーター設置
- 7月27日～
- 8月 4日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名、支部職員1名をベトナムに派遣
- 8月 県内各地を襲った集中豪雨により被災者に対し、
救援物資(毛布189枚ほか)を配布
- 9月 2日～
- 12月 2日 ユーゴスラビア連邦コソボ自治州をめぐる紛争に伴う難民救援
前橋赤十字病院 形成外科部長を派遣
- 平成12年 1月15日～
- 1月22日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名、支部職員1名をベトナムに派遣
- 4月 幼児安全法講習スタート
- 4月26日
- 4月28日 世界赤十字デーキャンペーン実施
会場：館林市
- 4月27日～
- 4月30日 北海道有珠山噴火災害発生、救護活動を実施
救護班1班、調整員1名を長万部スポーツセンターに派遣
- 6月10日 尾島町にて化学工場爆発事故発生
被災者へ救援物資を配布(職員5名、青年赤十字奉仕団員5名対応)

- 7月26日～
- 8月2日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名、支部職員2名(内看護職員1名)を
ベトナムに派遣
- 8月6日 水上町湯檜曾川にて鉄砲水発生
救護班1班、調整員3名を派遣
- 9月15日～
- 9月22日 東海地方にて集中豪雨災害発生
ボランティアとして青年赤十字奉仕団員5名を愛知県に派遣
- 10月7日～
- 12月6日～ 東京都島しょ地震発生、救護活動を実施
救護班2班を新島若郷地区と新島若郷地区に派遣
- 平成13年 1月27日～
- 2月3日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名をベトナムに派遣
- 1月28日～
- 2月13日 インド西部グジャラート地方で大規模地震発生
前橋赤十字病院形成外科部長をブージ近郊に派遣
- 2月28日 非常用発電機設置
- 3月3日～
- 3月6日 日本赤十字社第2ブロック雪上安全法指導員養成講習実施
会場：万座温泉スキー場 県内6名参加
- 8月4日～
- 8月12日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名をベトナムに派遣
- 8月21日～
- 8月22日 台風11号接近上陸、情報収集を実施
- 9月 「原町赤十字病院」新病院竣工(吾妻町大字原町698)
- 9月10日～
- 9月11日 台風15号接近上陸、県内各地に救援物資を配布
- 9月30日～
- 10月 「原町赤十字病院」新病院開院
- 9月30日～
- 10月7日 青少年赤十字国際交流
メンバー2名をマレーシアに派遣

- 10月18日～
- 10月20日 ベトナム青少年赤十字メンバー4名、指導者1名、赤十字職員1名を受け入れ
- 12月28日 群馬県赤十字血液センター開設以来献血者数300万人達成
- 12月7日～
- 平成14年 1月31日 アフガン難民救援
前橋赤十字病院形成外科部長をパキスタンに派遣
- 1月30日～
- 2月6日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名、支部職員1名をベトナムに派遣
- 7月10日～
- 7月11日 台風6号接近上陸、情報収集を実施
- 7月15日～
- 7月16日 台風7号接近上陸、情報収集を実施
- 8月3日～
- 8月10日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名をベトナムに派遣
- 10月1日～
- 10月2日 台風21号接近上陸、情報収集を実施
- 10月21日～
- 10月26日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名、支部職員2名をベトナムに派遣
- 平成15年 3月31日 事務所棟2階大会議室改修工事 給湯設備設置
- 6月12日 青少年赤十字自由作文、読書感想文、ポスター図画コンクール開始
- 8月8日～
- 8月9日 台風10号接近上陸、情報収集を実施
- 9月25日 救急法フェスティバル in ぐんま実施
- 11月15日～
- 11月21日 香港青少年赤十字メンバー2名を受け入れ
- 平成16年 1月31日 事務所棟1階トイレバリアフリー改修工事
事務所棟エレベーター設置
事務所棟地下1階ドライエリア連絡通路設置
- 7月1日～
- 9月16日 地区分区との情報交換会実施
- 7月12日～
- 7月17日 北関東四県支部国際開発協力事業
地区分区職員2名をベトナムに派遣

- 7月13日～
 7月17日 新潟県豪雨災害発生
 救援物資（毛布1,640枚、お見舞い品セット115セット）を搬送
- 7月27日～
 8月3日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
 メンバー3名、指導者1名をベトナムに派遣
- 10月23日～
 12月9日 新潟県中越地震発生、救護活動を実施
 救護班5班を十日町病院ほかに派遣
- 11月13日～
 11月20日 香港青少年赤十字メンバー2名を受け入れ
 AED講習開始
- 平成17年
 3月31日 救護倉庫外壁塗装工事実施
 4月1日 前橋赤十字看護専門学校学生募集停止
- 7月11日～
 7月16日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
 地区分区職員1名をベトナムに派遣
- 7月26日～
 8月3日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
 メンバー3名、指導者1名、支部職員3名をモンゴルに派遣
- 10月
 パキスタン地震被災者医療救護
 前橋赤十字病院から医師1名を派遣(2か月間)
- 11月12日～
 11月18日 インド青少年赤十字メンバー2名を受け入れ
- 平成18年 7月13日 第42回献血運動推進全国大会実施
 会場：群馬アリーナ
 ※名誉副総裁皇太子殿下台臨
- 7月23日～
 7月30日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
 メンバー3名、指導者1名をカンボジアに派遣
- 11月3日～
 11月4日 全国ボランティアフェスティバル参加（延264名）
 会場：ぐんまアリーナほか
- 平成19年 3月7日 前橋赤十字看護専門学校閉校記念式典挙行
 会場：前橋商工会議所
- 3月31日 前橋赤十字看護専門学校閉校
 開校：大正2年 閉校：平成19年(94年間) 卒業生：3,049名

- 5月 5日 ぐんま赤十字フェスティバル 2007 開催
会場：伊勢崎市民のもり公園
- 7月 16日～
- 7月 26日 新潟県中越沖地震発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）1班、救護班2班、支援要員等5名を柏崎市等に派遣
- 7月 25日～
- 8月 1日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー3名、指導者1名をモンゴルに派遣
- 9月 6日～
- 9月 7日 台風9号による被災者に対し救援物資（毛布960枚ほか）を配布
高崎市、富岡市、吉井町、南牧村ほか
- 11月 16日～
- 11月 23日 パラオ共和国青少年赤十字メンバー2名を受け入れ
- 12月 13日～
- 12月 20日 北関東四県支部フィリピン赤十字社派遣事業
赤十字関係者3名、職員2名を派遣
- 平成20年 6月 14日 岩手・宮城内陸地震発生
DMAT（初動救護班）1班を岩手県一関市に派遣
- 7月 24日 岩手県沿岸北部地震発生
DMAT（初動救護班）1班を青森県八戸市に派遣
- 7月 30日～
- 8月 6日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー4名、指導者1名をモンゴルに派遣
- 平成21年 2月 15日～
- 2月 21日 フィリピン保健医療支援事業調査
赤十字関係者2名を派遣
- 2月 18日 前橋赤十字病院にてドクターヘリ運航開始
- 7月 1日 群馬県と「群馬 DMAT の派遣に関する協定」を締結
「災害派遣医療チーム群馬 DMAT 指定組織」として指定される
- 7月 22日～
- 7月 29日 北関東四県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー2名、指導者1名をモンゴルに派遣
- 7月 27日 館林地区管内で竜巻発生
情報収集と救援物資の調整を実施
- 8月 11日 駿河湾を震源とする地震発生
DMAT（初動救護班）1班を伊豆に派遣

- 平成 22 年 2 月 14 日～
- 2 月 20 日 北関東四県支部フィリピン赤十字社派遣事業
赤十字関係者 2 名を派遣
- 7 月 25 日～
- 7 月 31 日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー 5 名、指導者 1 名をベトナムに派遣
- 11 月 7 日～
- 11 月 12 日 北関東四県支部ベトナム赤十字社派遣事業
赤十字関係者 2 名、支部職員 1 名を派遣
- 11 月 12 日～
- 11 月 15 日 APEC 開催におけるテロ対策対応
救護班 24 名を派遣
- 平成 23 年 3 月 3 日 第 3 回もっとクロス！大賞内部連携赤十字理解部門において最優秀賞受賞
- 3 月 11 日 東日本大震災発生、発災直後から 3 月末までの間、救護活動を実施
(震源：東北三陸沖 マグニチュード：9.0 最大震度 7)
救護班 26 班を派遣
派遣場所：福島県立医科大学、石巻赤十字病院、花巻空港、
宮城県亘理公民館、日本赤十字社福島県支部、岩手県釜石市、
岩手県山田高校、福島県会津若松市、福島県いわき市、
福島県南相馬市
こころのケア要員（医師 2 名、看護師長 1 名）を岩手県釜石市に派遣
病院支援要員（医師 6 名、看護師 13 名、薬剤師 3 名）を石巻赤十字病院
に派遣
被災支部支援要員（支部職員 5 名、血液センター職員 5 名）を福島県支部
に派遣
第 2 ブロック現地災害対策本部調整員（支部職員 6 名）を派遣
血液センター職員 2 名により宮城県松島市へ救援物資を搬送
福島県大町病院からの患者受け入れ実施に伴い、群馬県庁、群馬県産業
技術センターへ救護班、防災ボランティアを派遣
- 平成 24 年 4 月 29 日 関越自動車道藤岡ジャンクション付近における高速バス乗客死亡事故
発生（死者 7 名、負傷者 39 名）
DMAT（初動救護班）2 班を派遣
医師 28 名、看護師 74 名、放射線技師 9 名、検査技師 7 名、事務職員 32
名、延べ 150 名（救護班要員を含む）が活動（遺体検案等）を実施
- 7 月 29 日～
- 8 月 5 日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣

- メンバー4名、指導者1名をベトナムに派遣
- 11月 4日～
- 11月 9日 北関東四県支部ベトナム赤十字社派遣事業
赤十字関係者3名、支部職員2名を派遣
- 平成25年 2月17日 北関東自動車道高崎ジャンクションにおけるトラック横転事故発生
DMAT（初動救護班）1班を派遣
- 3月 4日 高崎市綿貫病院隣接店舗にて火災発生
DMAT（初動救護班）1班を派遣
患者の緊急避難を実施し、19名を前橋赤十字病院に収容
- 3月12日 日本DMAT自衛隊航空実機使用した広域医療搬送研修会実施
会場：陸上自衛隊相馬が原駐屯地
- 3月 第2ブロック用現地災害対策本部車両配備
- 7月21日～
- 7月28日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー6名、指導者3名、支部事務局職員2名、看護師1名を
ベトナムに派遣
- 9月16日 みどり市、桐生市、太田市で竜巻災害発生、情報収集を実施
- 10月22日～
- 10月27日 北関東四県支部ベトナム赤十字社派遣事業
赤十字関係者2名を派遣
- 10月16日 台風26号により伊豆大島で風水害発生
東京都支部に代わり支援要員の派遣調整を実施
- 平成26年 2月14日～
- 2月15日 記録的な大雪により県内各地で孤立地域が発生
前橋市の積雪71cm
3市（安中市・藤岡市・沼田市）、3町（神流町・下仁田町・東吾妻町）、
2村（南牧村・高山村）に災害救助法が適用
情報収集並びに高崎市に救援物資（毛布100枚）を配布
赤十字飛行隊群馬支隊による孤立地域の上空調査実施
- 2月28日 第6回もっとクロス！大賞にて銅賞受賞
- 5月13日 群馬県広域医療搬送受入訓練実施
会場：陸上自衛隊相馬原駐屯地
- 7月20日～
- 7月27日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー5名、指導者1名をベトナムに派遣
- 9月16日 前橋市、伊勢崎市、太田市、みどり市などで最大震度5弱の地震発生
災害対策本部を立ち上げ情報収集実施

- 群馬県アマチュア無線赤十字奉仕団による情報収集実施
- 9月27日～
- 9月29日 長野県「御嶽山」噴火災害発生
DMAT（初動救護班）1班を長野県立木曾病院等に派遣
- 11月22日 長野県北部を震源とする最大震度6弱の地震発生
災害対策本部を立ち上げ情報収集実施
- 平成27年 5月30日 小笠原諸島西方沖を震源とする最大震度5強の地震発生
救護担当職員による情報収集を実施
群馬県無線赤十字奉仕団による情報収集を実施
- 6月15日 前橋市、伊勢崎市において突風被害が発生
救護担当職員による情報収集を実施
- 6月16日 浅間山噴火
救護担当職員による情報収集を実施
- 7月26日～
- 7月31日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー5名、指導者1名をシンガポールに派遣
- 9月9日～
- 10月13日 台風18号による関東・東北豪雨災害発生、救護活動を実施
支部職員1名、防災ボランティア1名を栃木県壬生町に派遣、救援物資（毛布800枚）を搬送
救護班1班、災害医療コーディネートチーム2班、第2ブロック現地調整本部要員2名、こころのケアチーム1班を茨城県常総市に派遣
- 10月19日～
- 10月24日 北関東四県支部ベトナム赤十字社派遣事業
赤十字関係者3名、支部職員1名を派遣
- 11月18日 上信越自動車道松井田町付近にて多重衝突事故発生
DMAT（初動救護班）2班を松井田町に派遣
- 平成28年 1月15日 国道18号長野県軽井沢町においてスキーツアーバス転落事故発生
DMAT（初動救護班）2班を長野県軽井沢町に派遣
- 3月20日 東日本大震災復興支援プロジェクト「私たちは、忘れない。」実施
会場：イオンモール高崎
- 4月14日 熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震（前震）発生
第1次救護体制での情報収集を実施
- 4月16日～
- 5月17日 熊本県熊本地方を震源とする震度7の地震（本震）発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）1班を国立病院機構災害医療センターに派遣
DMAT（初動救護班）1班、こころのケアコーディネートチーム1班を

熊本市に派遣

救護班 3 班を阿蘇郡西原村に派遣

災害医療コーディネーターチーム 1 班を阿蘇郡南阿蘇村に派遣

支援要員等 8 名を熊本県支部、熊本赤十字病院等に派遣

7 月 24 日～

7 月 29 日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣

メンバー 5 名、指導者 1 名、支部職員 2 名、看護師 1 名をシンガポールに派遣

9 月 7 日 群馬県内にて台風 13 号による土砂災害等が発生

第 1 次救護体制のもと情報収集を実施

10 月 18 日～

10 月 22 日 北関東四県支部ミャンマー赤十字社訪問事業

赤十字関係者 4 名、支部職員 2 名を派遣

10 月 20 日 上信越自動車道下り佐久平付近で交通事故発生

DMAT（初動救護班）1 班を長野県佐久市に派遣

10 月 21 日 鳥取県中部を震源とする最大震度 6 弱の地震が発生

第 1 次救護体制のもと情報収集を実施

11 月 22 日 福島県沖を震源とする最大震度 5 弱の地震が発生

第 1 次救護体制のもと情報収集を実施

12 月 28 日 茨城県北部を震源とする最大震度 6 弱の地震が発生

第 1 次救護体制のもと情報収集を実施

平成 29 年 7 月 23 日～

7 月 28 日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣

メンバー 5 名、指導者 1 名をシンガポールに派遣

9 月 13 日 群馬県アマチュア無線赤十字奉仕団ロールコール 100 回記念通信実施

9 月 25 日 全社統合情報システム導入

10 月 23 日 台風 23 号による大雨災害発生、太田市へ支部職員 1 名を派遣

救援物資（毛布 50 枚・緊急セット 24 個・タオルケット、バスタオルセット 50 個）を搬送

11 月 7 日～

11 月 11 日 北関東四県支部ミャンマー赤十字社訪問事業実施

赤十字関係者 2 名を派遣

11 月 8 日 上野村にてヘリコプター墜落事故発生、救護活動を実施

DMAT（初動救護班）1 班をドクターヘリにて派遣

平成 30 年 1 月 10 日 南牧村で森林火災が発生

第 1 次救護体制で情報収集を実施

- 1月23日 草津白根山（本白根山）噴火災害発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）5班を西吾妻福祉病院、群馬県庁に派遣
支援要員等4名を西吾妻福祉病院、群馬県庁等に派遣
草津町役場へ救援物資（毛布110枚）を搬送
- 2月28日 「前橋赤十字病院」新病院竣工（前橋市朝倉町389-1）
- 6月1日 「前橋赤十字病院」新病院開院
- 6月10日 渋川市スーパーマーケットにおいて車両追突事故発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）1班を派遣
- 6月17日 群馬県南部を震源とする最大震度5弱の地震が発生
救護担当職員による情報収集を実施
- 6月18日 大阪府を震源とする最大震度6弱の地震が発生
第1次救護体制のもと情報収集を実施
- 6月28日～
- 8月25日 西日本にて豪雨災害発生、救護活動を実施
災害医療コーディネートチーム1班を広島県呉市に派遣
こころのケアコーディネートチーム2班を広島県支部に派遣
- 9月6日～
- 9月13日 北海道胆振中東部を震源とする震度7の地震発生、救護活動を実施
救護班1班を勇払郡厚真町に派遣
災害医療コーディネートチーム1班を北海道支部に派遣
- 10月23日 群馬県赤十字大会実施
「日本赤十字社群馬県支部創立130周年並びに前橋赤十字病院新病院落成記念」
会場：ベイシア文化ホール
※名誉副総裁寛仁親王妃殿下台臨 前橋赤十字病院ご視察
- 令和元年5月10日 南牧村大日向地内においてマイクロバス転落事故発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）2班を派遣
- 7月21日～
- 26日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー5名、指導者1名、支部職員2名、看護師1名をマレーシアに派遣
- 9月9日～
- 13日 台風15号による豪雨災害発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）2班を千葉県に派遣
※第2班についてはDMATとしての活動後、災害医療コーディネートチームとして活動

- 9月20日 群馬県赤十字奉仕団創立70周年記念式典を開催
会場：群馬県社会福祉総合センター
- 10月12日～
- 25日 台風19号による豪雨災害発生、救護活動を実施
災害医療コーディネーターチーム2班を群馬県保健医療調整本部に派遣
救護班1班を福島県いわき市に派遣
- 12月3日～
- 7日 北関東四県支部ミャンマー赤十字社訪問事業実施
赤十字関係者3名を派遣
- 令和2年2月10日～
- 17日 新型コロナウイルス感染症対応として、
DMAT（初動救護班）1班を横浜港に停泊していた大型クルーズ船に派遣
DMAT（初動救護班）1班を神奈川県に派遣
- 4月12日～
- 18日 新型コロナウイルス感染症における県内介護施設並びに医療機関クラスター対応として、検体採取・患者移送を実施
DMAT（初動救護班）5班を派遣
- 7月16日～
- 21日 7月に熊本県を中心に九州地方で豪雨災害発生、被災地の調査等を実施
内閣府調査チームに医師1名を現地へ派遣
- 令和4年9月17日 栃木県・群馬県支部合同青少年赤十字国際交流事業実施
メンバー11名、指導者4名、支部職員2名が国内で国際交流
交流先：ペルー、ベトナム
※北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣の代替として実施
- 11月26日 青少年赤十字100周年記念大会 in Gunma を開催
会場：玉村町文化センター
- 令和5年1月29日 北関東四県支部海外赤十字社・赤新月社支援事業オンライン研修会実施
※北関東四県支部海外赤十字社訪問事業の代替として実施
- 9月23日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流事業実施
メンバー11名、指導者4名、支部職員2名が国内で国際交流
会場：学校法人 アジア学院
※北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣の代替として実施
- 令和6年1月1日～
- 4月3日 能登半島地震が発生、発災直後から4月上旬までの間、救護活動を実施
（震源：石川県能登地方 マグニチュード：7.6 最大震度7）
救護班6班を派遣
派遣場所：石川県珠洲市

日赤災害医療コーディネートチーム4班を派遣
派遣場所：石川県珠洲市・七尾市、日赤石川県支部

こころのケア班を2班派遣
派遣場所：石川県金沢市、輪島市

先遣要員2名を派遣
派遣場所：石川県珠洲市

DMAT5班を派遣
派遣場所：石川県庁、石川県七尾市・珠洲市

接骨師赤十字奉仕団3名を派遣 ※避難所等における被災者支援
派遣場所：石川県珠洲市

防災ボランティア8名を派遣 ※災害救援車両搬送
派遣場所：石川県金沢市、富山県富山市

令和6年7月21日～

26日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー5名、指導者1名、支部職員2名、看護師1名をマレーシアに派遣

令和7年7月20日～

25日 北関東三県支部青少年赤十字国際交流海外派遣
メンバー5名、指導者1名をマレーシアに派遣

8月4日 白沢発電所の改修工事において事故発生、救護活動を実施
DMAT（初動救護班）1班を派遣

9月23日 けやきウォーク前橋にて「ぐんま赤十字フェスタ」を開催
（支部・施設共同開催）

12月26日 関越自動車道水上インターチェンジ付近において多重事故発生、救護活動
を実施
DMAT（初動救護班）3班を派遣

令和8年2月20日～

21日 令和6年能登半島地震にかかる被災者支援活動を実施
支部職員1名、防災ボランティア2名を石川県輪島市へ派遣

3月23日 群馬県社会福祉協議会と「災害対応における相互協力に関する協定」を締結